

「未来」に向けたまちづくり

▶施政方針を述べる中崎町長



中崎町長は2月17日(火)の町議会本会議において、平成27年度の施政方針演説を行ないました。新たな任期である4年間に向けて、協力と参画のもとに取り組みを進めてきた「卓話集会」や「おあしす」事業、「観光」事業など、様々な取り組みを継続、発展させ、大磯町の将来、特に子どもや若い世代の「未来」を見すえたまちづくりに全力で取り組んでいく決意を述べました。

問 政策課 内線 205

■平成27年度力点

町民の皆さんが未来に夢や希望を持てるよう、「健康」「子育て」「観光」「定住」の4つの項目に力を注いでまいります。さらに国や県と連動して推し進める「地方創生」は、将来の大磯町にとっても大きなテーマです。将来への危機感を強く持ち、結婚、出産、子育て、健康、まちづくりなど、町全体の目標をしっかりと掲げ、全職員が一丸となり、皆さんと一体となって人口減少社会に立ち向かう取り組みを進めてまいります。

「健康」

全ての年代で希望するものは「健康」、健やかに、そして安心して暮らせる町、心と体の健康が育める町です。地域を巡回する「おあしす24健康おおいぞ」は、地域の中の健康サロンとして、皆さんの自主性を一層大切にし、集いと思いやりが育つような場所づくりを図っていきます。

病気の早期発見のため、町独自の胃がんリスク検診・前立腺がん検診を引き続き実施するとともに、ロコモティブシンドローム対策を一層進め、筋力検査などを通じ、下肢筋力などの運動器の状態を確認し、早期に予防する機会を提供します。

また、「健康」を支える一つであるスポーツでは、幼児期や少年期にスポーツや運動に親しむきっかけをつくるとともに、民間団体との連携による様々なビーチスポーツの普及にも取り組んでまいります。

子育て

町の将来を支える、若い方々や子どもたちを育て、次世代に引き継ぐ「子育て」で選ばれる町づくりを目指します。そのため、子育て支援全体を、総合的に推進する計画「大磯町子ども笑顔かがやきプラン」子育てで選ばれる町！おおいぞ」を策定しました。

計画策定にあたりいただいた「社会全体が保護者に寄り添い、子育て中の家庭を支えることで、保護者自身の成長や子どもたちの育ちを支援する」このことを胸に、子育て世代のニーズに即した取り組みや子育て世代の定住に向けた取り組みを、総括的に展開していきます。

観光

海沿いのブルーパークエリアでは、北浜海岸にビーチテニススコートの設置や大磯港における賑わい交流施設の整備、太平洋岸自転車道の延伸などを進めてまいります。また、照ヶ崎プールを海浜利用者や太平洋岸自転車道を利用するサ

イクリスト、ランナーが、1年を通じて利用できる「みなのオアシス」として、積極的に活用を図ってまいります。邸園文化交流園では、旧吉田茂邸の再建工事や郷土資料館のリニューアル整備を行なうていきます。グリーンパークエリアでは、営農への新規参入法人や就農者へ農地の斡旋・利活用、大磯の特産品となるよう「マコモタケ」の栽培や消費の拡大を進めます。

3つのエリアを舞台により多くの方が訪れる機会と場の創出を図ります。

定住

少子高齢化などの課題解決に向け実施した調査を形にしていいため、町民活動支援組織の立ち上げや子どもから高齢者までの暮らしをサポートするための取り組みを、モデル事業として実施します。

住んでいる方の「健康」、未来を担う子どもたちを育む「子育て」、町に来ていただく交流者を増やす「観光」、観光で訪れた人が、地域の活力や魅力を肌で感じ、親近感や愛着に触れた中で、大磯町を選び、住んでいただく「日本一住みたい町おおいぞ」という、光り輝く目的地である「未来」に向けて、大きく前進させてまいります。